

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 3月 30日

事業所名 UOOH! 療育ラボ中野野方スタジオ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	1時間あたり最大4名までの利用にしております。	現状1時間あたり最大4名までの利用としております。ご予約を多く頂いておりますので、3名枠で入りきらない枠もございますので1時間あたり3名枠で活動できるよう、検討し、新規事業所の開設も含めて受け入れ準備を進めております。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	1日最低4名、最大7名のスタッフを配置しております。全スタッフ有資格者となっており、資格に関しては、保育士1名、幼稚園教諭2名、児童指導員2名、社会福祉主事1名、理学療法士3名、公認心理士2名の配置となっております。	1日最低4名、最大7名のスタッフを配置しております。全スタッフ有資格者となっており、資格に関しては、保育士1名、幼稚園教諭2名、児童指導員2名、社会福祉主事1名、理学療法士3名、公認心理士2名の配置となっております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	プログラム中は視覚からの情報をシンプルにし、他の刺激により注意が逸れないように物の配置を考えております。	プログラム中は視覚からの情報をシンプルにし、他の刺激により注意が逸れないように物の配置を考えております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	0	毎日、全ての療育が終了したあと、ミーティングを行い、子どもの様子・変化・保護者の方のコメント等をスタッフ間で検討、共有、連携、記録を行い次回の療育に反映しております。	毎日、全ての療育が終了したあと、ミーティングを行い、子どもの様子・変化・保護者の方のコメント等をスタッフ間で検討、共有、連携、記録を行い次回の療育に反映しております。事務処理業務をよりスムーズに実施できるように体系の整備を実行していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	毎年実施を行い、保護者様のご意向を頂戴し、業務改善に向けて1つ1つ取り組みを行っております。	毎年実施を行い、保護者様のご意向を頂戴し、業務改善に向けて1つ1つ取り組みを行っております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	毎年実施を行い、結果を集計の上、職員全体で共有を行っております。その上で評価内容や改善内容はHP上にアップロードさせていただきます。	毎年実施を行い、結果を集計の上、職員全体で共有を行っております。その上で評価内容や改善内容はHP上にアップロードさせていただきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	0	第三者評価を実施し、評価結果を職員全体で共有しております。	第三者評価を実施し、評価結果を職員全体で共有しております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	事業所で行う療育研修、OJT研修、チームワークを高める研修を実施しております。中野区の研修等、外部研修にも都度参加しております。	隔週日曜日の療育後にプログラム研修、療育連携研修、スタッフの表現力を高める研修を行っているため、今後もより研修内容の充実を図っていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	モニタリングとアセスメントツールを使用し、保護者のご要望を取り入れながら児童発達支援計画を作成しております。	モニタリングとアセスメントツールを使用し、保護者のご要望を取り入れながら児童発達支援計画を作成しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	アセスメントツールは、4回まで記録しておくことができ、一定期間で評価を行うことができる標準化された様式を用いています。成長のステップや速度、苦手な事や得意な事が、具体的・視覚的に把握できるようにしております。	アセスメントツールは、4回まで記録しておくことができ、一定期間で評価を行うことができる標準化された様式を用いています。成長のステップや速度、苦手な事や得意な事が、具体的・視覚的に把握できるようにしております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	研修、ミーティングを通じて、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、理学療法士、公認心理士の多職種連携のもとプログラムの作成を行っております。	療育後にミーティングを行い、理学療法士、児童指導員、保育士、公認心理士等に多職種連携を行っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	子どもが毎回楽しく運動プログラムに取り組めるように、興味の創り方や注意の引き方、プログラムの展開を療育毎に変えております。鉄棒、縄跳び等の運動技能習得に関しましては毎回継続しなければならないので固定化して実施しております。	子どもが毎回楽しく運動プログラムに取り組めるように、興味の創り方や注意の引き方、プログラムの展開を療育毎に変えております。鉄棒、縄跳び等の運動技能習得に関しましては毎回継続しなければならないので固定化して実施しております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	子どもの様子変化に応じて対応を変えている。また日曜には屋外での活動を行っている	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	平日の完全マンツーマンによる個別運動療育プログラムと、隔週土曜日午前、毎週日曜日に小集団屋外フィールドプログラムを実施しております。小集団も一人のお子様一人の担当指導員がおります。上記のプログラムにて、アセスメント、モニタリングを行い、児童発達支援計画へ反映しております。	平日の完全マンツーマンによる個別運動療育プログラムと、隔週土曜日午前、毎週日曜日に小集団屋外フィールドプログラムを実施しています。小集団も一人のお子様一人の担当指導員がおります。上記のプログラムにて、アセスメント、モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画へ反映しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	お子様の担当の割り振りを行い、お子様の課題、保護者の方の要望、本人の興味、前回の様子を引き継ぎ共有しております。	事前にお子様の担当の割り振りを行い、お子様の課題、保護者の方の要望、本人の興味を共有しております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	毎日支援終了後、お子様一人一人毎に、実施内容、様子、変化、保護者コメントと要望を共有し、次回の展開、やり方について話しています。	毎日支援終了後、お子様一人一人毎に、実施内容、様子、変化、保護者コメントと要望を共有し、次回の展開、やり方について話しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	毎回の内容や子どもの様子を主観、客観、アセスメントの項目、保護者の方のご要望に分けて、記録しています。	毎回の内容や子どもの様子を主観、客観、アセスメントの項目に分けて、記録しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	4か月ごとにモニタリングを実施し、支援計画の見直しの必要性を含めて判断しております。	3か月ごとにモニタリングを実施しております。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	運動療育を中心に近隣の公園での屋外小集団を実施し、地域での活動を行っている		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	児童発達管理責任者が参加しております。	児童発達支援管理責任者が参加しています。	

事業者向け アンケート配布用（放課後等デイサービス）

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	①	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	保護者の方からご要望のあった際に、就学支援シートの作成及び学校での支援会議に参加し、支援内容の共有、情報の共有を図っています。	引きつづき保護者の方のご要望があった際に小学校でのケース会議に自動発達管理責任者が参加いたします。その際に担任の先生との情報共有を図ってまいります。
	②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	訪問看護事業所の方にご来所していただき、方針の統合を図っております。	引きつづき、訪問看護事業所との連携を図ってまいります。
	③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	就学支援シート等を作成し、情報の共有を図っている	引き続き、就学支援シート等を通じて保育園、幼稚園等の情報共有を図ってまいります。
	④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	0	放課後デイサービスを卒業する児童はいない状況です。	該当する児童がいる際は、就労支援事業所との連携を視野に入れ、それまでの支援内容等を共有できる体制を整えてまいります。
	⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	相談支援事業所との定期的なモニタリングにて、お子様の情報共有を行っています。	引き続き相談支援事業所との定期的なモニタリングを実施してまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	-	-	コロナ渦のため、実施していない状況です。	コロナ感染拡大の状況を見つ、「マンツーマン運動療育の点」、「保護者の方のお考え」を鑑み、必要に応じて検討してまいります。
	⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	中野区の事業者連絡会に参加しております。	引き続き中野区の事業者連絡会に参加してまいります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	毎回の療育後にフィードバックを行い、療育実施内容、様子、変化、保護者の方の要望について話し合いができるようにしております。	毎回の療育後にフィードバックを行い、療育実施内容、様子、変化、保護者の方の要望について話し合いができるようにしております。
	⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	現在、ペアレントトレーニングは実施しておりませんが、毎回の療育の後にフィードバックにてご家庭でのお子様の様子や療育についてのご助言を行っております。	現在、ペアレントトレーニングは実施しておりませんが、毎回の療育の後にフィードバックにてお子様の様子、療育についてお伝えしております。
保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約書、重要事項説明書に記載し、契約時にご説明をさせていただいております。	契約書、重要事項説明書に記載し、契約時にご説明をさせていただいております。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	毎回の療育後にフィードバックを行い、療育実施内容、様子、変化、保護者の方の要望について話し合いができるようにしております。また公認心理士のカウンセリングを実施しております。	毎回の療育後にフィードバックを行い、療育実施内容、様子、変化、保護者の方の要望について話し合いができるようにしております。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	-	-	完全マンツーマン療育ですので、現在実施しておりません。	今後、保護者の方のご要望に応じて、当事業所にあつた形での実施を検討してまいります。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情相談解決窓口を設置し解決責任者、受付担当者を配置しております。	苦情解決担当、解決責任者の名前を重要事項説明書に記載し、速やかに保護者からの苦情、相談を解決できるよう体制を整えております。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	会報等は作成していない状況です。活動内容にしましては通所時に保護者の方もきていただき、療育の内容、様子を直接ご覧いただいております。	マンツーマン療育を行っていますので、通所時に保護者の方もきていただき、療育の内容、様子をご覧いただいております。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報取り扱い研修を毎年4月、11月に行い、情報の取り扱いにおける留意点を共有しております。	個人情報取り扱い研修を毎年4月、11月に行い、情報の取り扱いにおける留意点を共有しております。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	発語、双方向コミュニケーションを促す観点から、身体、声、表情のノンバーバル表現力を用いております。発語の促し、コミュニケーション力の向上を図るため必要以上のマカトサイン等は使用しないようにしております。	引き続き、療育士の身体、表情、声等のノンバーバル表現、言語表現を組み合わせお子様に応じたdir手法による発達心理学上の発達段階表を基準にお子さまの発達を促してまいります。
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	-	-	現在コロナ渦の為、実施しておりません。	コロナ感染拡大の状況を見つ、「マンツーマン運動療育の点」、「保護者の方のお考え」を鑑み、必要に応じて検討してまいります。
	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	緊急時対応、防犯にしましてはマニュアルを作成し、感染症にしましてはbopを策定し、研修を行い職員全体で共有しております。	引き続き感染症対策研修、防犯研修、bop研修を行い、非常時においてもスムーズに対応できるようにしてまいります。保護者の方への周知がまだまだ不十分なので、待合室へのマニュアルの配置等も行ってまいります。
非常時等の対応	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年2回、5月、11月に実施しております。	年2回実施しております。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会をつくり、虐待防止研修、身体拘束研修を行っています。	虐待防止委員会をつくり、虐待防止研修、身体拘束研修を行っています。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	身体拘束委員会をつくり、組織的な対応体制をつくっております。身体拘束を必要とする児童は在籍しておりませんので、支援計画に記載するケースはありません。	身体拘束委員会をつくり、組織的な対応体制をつくっております。身体拘束を必要とする児童はおりませんので、支援計画には記載に該当するケースはありません。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	マンツーマン運動療育ですので食事を提供する場面はありません。	マンツーマン運動療育ですので、食事を提供する場面はありません。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	毎日療育後のミーティングにて、ヒヤリハットがあった場合の共有を行い、ヒヤリハット事例集、報告書を作成しております。	毎日療育後のミーティングにて、ヒヤリハットがあった場合の共有を行い、ヒヤリハット事例集、報告書を作成しております。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。